

# 緑化委員会広報

## 緑化環境の整備作業に奮闘

### 事故防止でストレッチ体操

緑化委員会は毎月第1日曜日に定例作業を実施している。今年は猛暑の影響で雑草の生育が早く、例年なら作業を休む8月にも定例と臨時作業日を設定するなど除草、生け垣整備作業などに奮闘した。

団地入居が始まって23年。敷地内の樹木も年々大

きく成長し、手入れ費用も人手もかかるようになってきた。高木剪定（せんでい）や樹木消毒等は造園業者に外注しているが、東側歩道脇のナンキンハゼの剪定などは緑化委員が協力して実施してきた。

しかし、樹高も伸びて高ハシゴを使った作業も危険を伴うため、来年以降、すべてのナンキンハゼを順次、伐採することを決めた。この歩道の市道側にはナンキンハゼが植えられた後に、ハナミズキが街路樹として植えられている。

緑化委員会の今年のキャッチフレーズは「安全作業」。そこで10月の作業日からは中高年会員の硬い体をほぐそうと、作業前にストレッチ体操を取り入れた。指導したのはストレッチ体操に詳しい会田修委員。約10分間、参加者全員が全身の体をほぐした後、南側斜面の作業現場に向かった。



ストレッチで体をほぐした後、南側斜面で整備作業

## 台風被害でイチヨウの木伐採

### 遊歩道のモミジバフウ倒木

関東地方を直撃した台風15号の影響で、各地で倒木被害が続出したが、団地周辺でも高木が倒れたり、傾く樹木が出るなど被害が出た。

サクラの木は入居当時に公団が植えたが、緑化委員会では今後の保守・管理等を考慮して、3本のサクラを伐採する方向で検討している。

### 生け垣刈り込み終了

今年の生け垣刈り込み作業が終わった。例年通り造園業者の風雅苑に発注し、9月1日から10月上旬にかけて実施した。

途中、台風被害によるイチヨウの木伐採やサクラの木の毛虫発生による臨時の剪定（せんでい）作業を依頼したが、予定通り期間内で整備を終えた。

### 定例作業報告

6月～10月

6月5日（日）理事会主催の草取りデー。緑化委員会は東側歩道脇のアペリアの剪定作業を実施。

7月3日（日）3号棟南側斜面の刈り払い機による草刈りと集会所前の花壇の花植え作業。

7月17日（日）団地夏祭り。カレー調理と焼きそば、かき氷などで支援。

8月7日（日）1号棟北



伐採



枝切り



傾斜

側の草刈りを実施。しばらく手入れをしていなかったため、雑草が生い茂り、1号棟居住者も応援して作業に当たった。

9月4日（日）理事会主催の草取りデー。午後から防災訓練を実施。緑化委員会は前日の降雨で予定していた東側斜面がぬれているため、作業を中止。

9月18日（日）理事会主催の草刈りデーに中止した東側斜面の臨時草刈り作業。

10月2日（日）南側斜面の雑草刈り込み。

# 負けねえぞ！南三陸町

## 継続的な支援が必要

9月末、東日本大震災で最も大きな被害を受けた被災地のひとつである宮城県南三陸町を訪れた。地震直後に比べれば多少が進んでいるのかもしれないが、やはり映像とは異なり、地元の方々の息遣いを感じながら、現場に立つ

と、言葉を負う。4月から毎月、最終日曜日に開催される福興市にも出掛け、今年のホームタウン鶴牧の夏祭りで販売したTシャツを売っている関係者や漁協の人たちとも言葉を交わした。しかし地震と大津波の荒廃の中から立ち上がるようにしている人たちに、無力感に茫然（ぼうぜん）とするばかりだった。

そんな中、若い人たちと一緒にボランティア活動している私と年代と思われる



商店街があった南三陸町の志津川地区

土台だけになった平地の中でひと際、目立つ4階建てのビルは石巻市立病院。大津波の直撃を受けて被災し、病院の窓ガラスがすべてぶち抜かれ、廃墟となっていたと思われる建物は大きく傾き、地盤沈下でできた津波の「たまり池」の中に崩れ落ちたままだ。

津波に飲み込まれ窓ガラスがすべて破損した上、火災が起きて焼け焦げた3階建ての小学校の校舎があった。避難してきた周辺住民が被害に遭い多くの犠牲者が出たという。喪服姿の人

る人々には敬服した。「どこかの誰かの応援が被災地に届き続けられることが励みになる」と言った人がいたが、復興には何年もかかるだろうから、「今、何ができるか」などと考える

### 垣間見た大津波の爪痕

#### 痛々しい校舎のスローガン

東日本大震災からちょうど半年。死者・行方不明者が5千人超に上った宮城県石巻市近郊を訪れた。津波から逃げて多くの市民が避難した日和山公園に上ると、建物が押し流され、茶褐色に変わり果てた市街地が広がっていた。

女川町では横転したビルがいくつも目に入った。尻を出してビルが転倒するほど信じられないような光景が続く。港の岸壁沿いに建てられた大きな町立観光物産施設は岸壁沈下で建物全体が海水に洗われている。テレビ映像とは違って実際に目の前に広がる惨状を見ると、「すごい」「がんばれ東北」と心の中で叫んで



横転して流された3階建てのビル



営業再開した中華飯店

### 編集後記

◇事故防止に役立てようとして作業開始前にストレッチャを過信せず、ストレッチ体操で関節を伸ばし、予期せぬけが防止を徹底するのが狙いです。

◇緑化委員会の月例作業

も、その後は言葉にならない。大震災後、間もなく営業を再開した石巻市の中華飯店を探し当て昼食をとった。緑化委員の田上氏から紹介され、「知り合いの中華店に寄ってほしい」と勧められていた。石巻警察署があるこの地域一帯は土地

がやや高く、奇跡的に津波被害を免れたという。経営者から来店を歓迎されたが、「東北に来てくれることが支援になる」という言葉を聞いてほっとした。物見遊山のような見聞旅行と気にかけていただけに、ちよっぴり救われた気分になった。(富田)

には毎回、会員以外の居住者の参加を作業ビラで呼び掛けています。機械を使った作業は無理ですが、刈り込んだ雑草の収集などにぜひご参加ください。

◇東日本大震災で関係者が被害に遭った団地居住者と仲間同士で被災地を回っ

た委員に見聞記を寄稿してもらいました。

◇先日、大井競馬に出掛けた緑化委員一行がグループ買いたした3連単馬券が見事的中、大成果を挙げました。2回目もさっそうと出掛けましたが、2匹目のドジョウはいなかったとか。(編集担当)